第 4 版（2026 年 4 月 1 日作成）

循環器内科に通院中の患者さん(又は通院歴のある方)へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療後の診療情報等を使って行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は関西医科大学総合医療センター研究倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、研究機関の長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》　肥大型心筋症における心嚢水貯留の意義

《研究機関名・研究責任者》　循環器内科・名誉病院長　杉浦　哲朗

《研究の目的》心臓と心臓を覆っている心外膜の間には心のう液という液体が存在します。心のう液は心臓の拡張や収縮のための潤滑油になったり、外部からの衝撃を和らげるクッションのような役割を担っています。この心のう液がたくさん溜まると心臓の機能に障害がでてきたりします。本研究は、肥大型心筋症の患者さんの再入院の有無と心のう水貯留の関連について調査を行うことを目的としています。

《研究期間》研究機関の長の許可日　～　2028 年 3 月 31 日

《研究の方法》

●対象となる患者さん

肥大型心筋症と診断された患者さんで、2001 年 1 月 1 日から 2022 年 12 月 28 日の間に循環器内科で治療を受けた方

●研究に用いる試料・情報の種類

情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、心エコー図・心電図検査）等

《試料・情報の利用又は提供を開始する予定日》研究機関の長の許可日から

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での診療情報等の取扱い》

お預かりした情報等は、患者さんの氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

＊上記の研究に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

〒570-8507　大阪府守口市文園町10-15　　TEL：06-6992-1001（代表）
関西医科大学総合医療センター　循環器内科
研究責任者：杉浦　哲朗